

ふるさと富山・奥田地域に学び、伝統を受け継ぐ子供の育成を目指して

1 はじめに

奥田小学校は、今年度創校150周年を迎える。節目となる今年度の学校教育目標を「心豊かにたくましく生きる奥田つ子を育てる-自信・前進・好奇心-」とした。その実現のために総合的な学習の時間に、奥田地域のよさをたっぷりと感じることができるとともに、探究的な活動に取り組みたいと考えた。様々な分野のゲストティーチャーを迎え、学んだことをいろいろな方法で表現したり、令和奥田音頭をつくり、あらゆる機会に発表したりするなど自分たちの学びを発信する活動を通して、地域の人々の思いや願いに気づき、地域のよさを受け継ごうとする心情や態度が育成することをねらい、本実践を行った。

2 活動の実際

(1) 3年生の取組 総合的な学習の時間「チャレンジ奥田博士！～もっと〇〇したい！～」

奥田地域の魅力を探求する活動を通して、人や建物、景観、交通、歴史等の観点から奥田地域の特色やよさを考え、地域を大切にしている人々の思いや願いを理解するとともに、自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考え、積極的に関わることができるようになる子供の姿を目指して学習を行った。

まず、校区にある「水かけぼっくりさん」について調べ活動を行った。実際に見学に行き体験したり、地域の詳しい方をゲストティーチャーに迎えて話を聞いたりした。今まであまり注目していなかった対象に対して、様々な方法で調べることで地域における存在意義を知り、今後も大切にしていきたいという思いをもつことができた。

次に、ゲストティーチャーの話と関連させて、富山市で知名度のある「富岩運河環水公園」を調べる対象とした。校区にある公園ではあるが、大人の利用が多く、子供たちにとって身近ではなかった。しかし、来園者が多いことから、多くの人にとって魅力があると考え、調べ活動を始めた。3年生の発達段階では、インターネット上の情報を理解することは難しく、子供たちは「水かけぼっくりさん」での学習を生かして、現地に行き調べたいと考えた。そこで、現地で地域の案内ボランティアの方に説明していただいたり、自分が調べたいことに合わせて来園者の方にインタビューしたりした。体験することで、多くの人を感じる魅力を理解し、校区の自慢として捉える子供が増えた。このように、「本物に触れる場」を多く設定することで、奥田地域のよさをたっぷりと感じ、より地域に愛着をもつことができた。



〈「水かけぼっくりさん」の見学〉



〈ゲストティーチャーから話を聞き、写真を見せてもらう〉



〈地域のボランティアから現地で教えてもらう〉

(2) 5年生の取組 総合的な学習の時間「ふるさと富山から自分の未来を考えよう

～今のわたし、これからのわたし～

奥田小学校は今年、創校 150 周年を迎えた。「奥田音頭」は、創校 100 周年を記念して当時の児童が作成し、平成 8 年には、奥田地区が富山市編入 60 年になることを記念して「新奥田音頭」として受け継がれてきた。「新奥田音頭」はこれまで奥田地区で開催される「ふるさと祭り」や「輪踊りのつどい」で地域の方々に歌い踊り継がれ、親しまれてきた。五年生では、これまで受け継がれてきた「新奥田音頭」を、創校 150 周年を記念して、「今」の奥田のよさを取り入れたものに変え、これからも受け継いでいきたいという願いから、総合的な学習の時間に歌詞や踊りをつくり変える活動に取り組んだ。

○ 「奥田音頭」を受け継ごうプロジェクト

奥田校区のよさを知るため、地域の方にインタビューをしたり、実際に地域の施設に見学に行ったりする活動を行った。一学期には、国語科「日常を十七音で」の学習と関連させ、調べたことを俳句で表現した。俳句をつくる際には、校長先生から奥田地区の歴史やよさを教えていただき、奥田にはどのようなよさがあるのかについての考えを深めることができた。

俳句づくりを生かし、二学期からは「奥田音頭」の歌詞と踊りづくりを行った。これまで見つけた奥田のよさを「優しさ」「自然」「交通」「スポーツ」「祭り」「歴史」の 6 つに分け、歌詞づくりに取り組んだ。歌詞に入りたい言葉や思いをチームごとに書き出し、これまでの歌詞に込められた思いを大切にしつつ、自分たちの感じている「今」の奥田のよさを表現した。

また、踊りも小さな子供からお年寄りまで、みんなが踊ることのできるものに変えようと、これまで受け継がれてきた踊りを基に、つくり変えた。踊りをつくり変える際には、これまで輪踊りを受け継いでこられた「女性の会」の方々にも協力していただいた。踊りのポイントを教えてもらったり、自分たちの考えた振り付けにアドバイスをもらったりした。「女性の会」の方から、これまで受け継いできた思いや歴史を聞き、「自分たちも受け継いでいきたい」という思いを高め、活動に生かすことができた。



〈校長先生の俳句教室〉



〈女性の会の方の講演〉



〈女性の会の方との踊りづくり〉

○ 「令和奥田音頭」を広めようプロジェクト

「令和奥田音頭」の歌詞や踊りを完成させ、これからの奥田について考える活動を行った。子供たちは「これからも自分たちが奥田のよさを伝えていきたい」「たくさんの人に奥田のよさや『令和奥田音頭』を知ってもらい、一緒に受け継いでいってほしい」という願いをもち、様々な活動を考え、実践した。奥田地区のよさや歴史、「令和奥田音頭」を伝えるため、子供たちは自分たちでグループをつくり、活動に主体的に取り組んだ。

① 地域へ向けた活動

・学習発表会での披露

11月に行われた創校150周年記念学習発表会では、「令和奥田音頭」の合奏、歌、踊りを披露した。これまで笛太鼓とともに受け継がれてきた「奥田音頭」にリコーダー、鍵盤ハーモニカ、鉄琴、木琴、アコーディオン、樽太鼓を加えて華やかな演奏にした。また、歌や合奏に合わせ、自分たちがつくり替えた踊りも披露した。



〈学習発表会での発表〉

・回覧板でのチラシ配布

地域の方に、「令和奥田音頭」の歌詞を伝え、知ってもらうために、歌詞や活動の様子をチラシにまとめ、回覧板で配付した。チラシをつくる際には、地区センターに連絡をとったり、図画工作科担当の先生にレイアウトについてアドバイスをもらったり、助手の方に印刷の仕方を教えてもらったりした。様々な大人と関わりながら、自分たちで活動を進め、チラシを完成させた。



〈チラシの印刷を行う〉



〈完成したチラシ①〉

〈完成したチラシ②〉

・CDの制作

実際に各地区で「令和奥田音頭」を聞いて踊ってもらえるよう、CDを制作し、各地区に配付した。学校にあるCDを参考にし、CDに入れる曲を選定したり歌詞カードをつくったりした。CDには「令和奥田音頭」だけでなく、校歌や六年生が制作した「創校150周年記念歌『つなごう明日へ』」も収録した。



〈完成したCD〉

・ホームページへの投稿

より多くの人に、自分たちの活動や「令和奥田音頭」を知ってもらいたいという思いから、奥田小学校のホームページに記事を投稿した。練習風景を写真に撮ったり、友達へインタビューしたりしながら、楽器や歌詞に込めた思いの紹介を行った。どのようなことを記事にしたらいいのか、どのような写真を載せると分かりやすいかなどを相談しながら活動を進めることができた。



〈ホームページの記事〉

② 全校へ向けた活動

・クイズラリー、校内放送

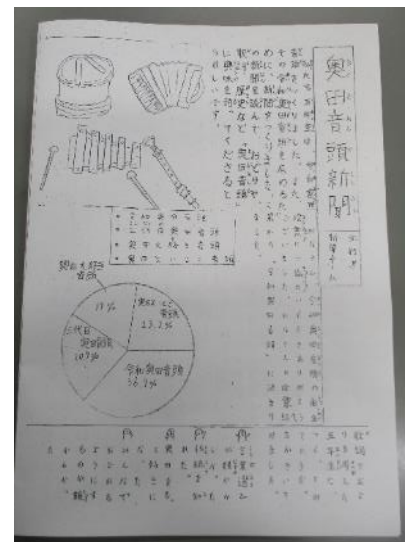
全校に「令和奥田音頭」について興味をもってもらおうと、クイズラリーを開催した。校舎内に「令和奥田音頭」に関するクイズを掲示し、出題した。また、クイズラリーの開催に合わせて、スライドに「令和奥田音頭」の歌詞や込めた思い、校区の写真をまとめ、校内放送で紹介した。



〈校内放送の様子〉

・校内掲示

全校に「令和奥田音頭」について知ってもらい、一緒に受け継いでいってほしいと、「令和奥田音頭新聞」「令和奥田音頭アルバム」「ポスター」の3つのチームに分かれ、校内掲示を行った。新聞チームでは、5年生の思いや奥田音頭の歴史、校長先生へのインタビュー、踊りの解説等、多岐にわたる内容を新聞にまとめ、紹介した。国語科で学習した新聞のつくりを意識しながら、新聞をまとめ、各クラスに配付した。アルバムチームでは、令和奥田音頭の歌詞に込めた思いを紹介するため、奥田のよさを表した写真を中心にまとめた。5年生が見付けて撮影した、奥田地区のよさを模造紙にまとめ、児童玄関に掲示した。ポスターチームでは、「令和奥田音頭」が受け継がれてきた思いや、歌詞に込められた奥田のよさをポスターにまとめた。伝える相手を意識しながら、レイアウトや文を工夫してまとめることができた。



〈令和奥田音頭新聞〉

・テレビ放送

「令和奥田音頭」をテーマにしたオリジナル番組を製作し、校内のテレビ放送で流した。これまでの5年生の活動を紹介したり、「令和奥田音頭」について下学年にインタビューをしたりして全校が「令和奥田音頭」について興味をもてるようにした。動画の撮影や編集も自分たちの手で行い、全校に自分たちの思いを伝えることができた。

・1年生との集会

「令和奥田音頭」をこれからの奥田小学校を支えていく1年生に教えたいと、1年生に踊りの振りを教える集会を開いた。「令和奥田音頭」にまつわるクイズを行ったり、なかよし活動の自分のペアの1年生に振りを教えたりした。1年生に教える際には、「次は右で手をたたくよ」「指をそろえるといいよ」等、優しく声かけをする姿も多く見られ、高学年としての意識も高めることができた。1年生からは「教室でも踊りたい」「一緒に踊って楽しかった」という声があり、楽しみながら伝統を伝えることができた。



〈1年生との集会の様子①〉



〈1年生との集会の様子②〉



〈1,5年生で輪踊りをする様子〉

・奥田音頭踊り教室

二学期の活動をふまえ、三学期には全校に踊りを伝えるイベントを実施した。全校に「令和奥田音頭」の振りを知ってもらい、踊ることができるようにするために、縦割り活動で班ごとに「令和奥田音頭」の踊りを伝えた。本校では、金曜日の給食後の時間に「なかよし活動」という縦割り活動を行っている。これまで6年生に進めてもらっていた「なかよし活動」を初めて5年生主体で進め、子供たちは来年への意欲を高めるとともに、下学年に「令和奥田音頭」を教えることで、学校全体で受け継いでいこうという思いを高めることができた。「なかよし活動」後も、休み時間に自主的に「令和奥田音頭踊り教室」を開催するなど、学習外でも自分たちの力で活動を進めていこうという姿が見られた。



〈なかよし活動の様子〉



〈休み時間の輪踊り〉

3 まとめ

創校 150 周年という節目を迎え、子供たちは実際に見たり聞いたりする活動を通して、奥田地区のよさを見つめ直し、自分たちも奥田地区の一員としてよさや歴史を受け継いでいきたいという思いを高めることができた。また、子供たちは「今」の自分が奥田地区のためにできることを自分なりに考え、活動の幅を広げたことで多岐にわたる活動に積極的に取り組むことができた。今年だけに留まらず、子供たちがこれからも自分たちの住む奥田を大切に思う心を育てていきたい。